

九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科 修士論文一覧

(指導教員の職位は大学院学生が修了した当時のもの)

■令和4年度 看護学専攻

分野・領域	論文題目	大学院学生	指導教員
実践看護学分野	神経難病患者の在宅移行支援に向けた病棟看護師の認識と行動	安部 美江	生野 繁子 教授
実践看護学分野	中小規模病院に勤務する看護師の成人愛着スタイルとメンタルヘルスとの関連	西森 直美	上田 智之 准教授

■令和4年度 精神保健学専攻

分野	論文題目	大学院学生	指導教員
社会精神保健学分野	肢体不自由者の社会参加はどのようにできるのか	上原 靖博	竹中 健 教授

■令和4年度 健康支援科学専攻

分野	論文題目	大学院学生	指導教員
身体機能支援科学分野	歩行速度に影響を与える因子の検討 —Trailing Limb Angle と腓腹筋内側頭の筋活動に着目して—	中玉利 一輝	大池 貴行 教授
身体機能支援科学分野	理学療法学部生の理学療法士としての目標について —テキストマイニングを用いたアンケート分析—	中村 公治	大池 貴行 教授
身体機能支援科学分野	胸腹部の不快感な自覚症状と膝前面痛及び口唇の状態との関連について	岩崎 泰知	篠原 昭二 教授
身体機能支援科学分野	要介護・要支援高齢者における身体活動と身体機能との関連性について	宗 絃史	大池 貴行 教授

『九州看護福祉大学紀要』投稿内規および執筆要領 (2020年11月 改正)

1. 九州看護福祉大学紀要は、次のように4区分して編集する。
 - 一 原著論文 (Original Article) : 調査・研究に関する論文で原則的に独創的な内容、新しい事実を含む研究論文としての形式が整っているもの
 - 二 総説 (Review) : ある主題に関連した研究の総括、提案や提言
 - 三 研究報告 (Study Report) : 内容的に原著には及ばないが、研究結果の意義が大きいもの
 - 四 その他 (Others) : 上記の分類以外で重要な記録に該当するもの
2. 投稿者は、本学専任教員、名誉教授、非常勤講師とその共同研究者および紀要編集委員会が認めた者とする。
3. 投稿原稿は、国内・外の他の出版物に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。
4. 人を対象とする内容の場合は、ヘルシンキ宣言を遵守し、原則として本学の倫理委員会に申請し承認されたものであることとし、本文に明記する。動物実験の場合も同様に、本学の動物実験委員会に申請し承認されたものであることとし、本文に明記する。
5. 投稿は、プリントアウトした原本1部、複写2部の計3部を提出する。複写については著者氏名、所属、謝辞など、著者を特定できるような事項を削除する。最終原稿提出時には原稿を保存したCD-RまたはUSBメモリなどを添付する。
6. 紀要に掲載を希望する者は、別に定めた「紀要投稿申込書」に所定の事項を記入し、紀要編集委員会が定める日までに紀要編集委員長まで提出すること。また、原稿投稿時には、別に定めた「投稿確認書」を添付すること。
7. 投稿確認書には原稿内容に添った希望審査専門分野を記入する。但し紀要編集委員会はこの希望に拘束されない。
8. 投稿は、〒865-0062 熊本県玉名市富尾888番地 九州看護福祉大学紀要編集委員会宛とする。
9. 投稿は編集委員会が別に定めた日を締切日とし、この日を過ぎて投稿されたものは認められない。但し、委員長が妥当と認めた遅れについては、2週間までをその限度として投稿原稿は受理される。
10. 投稿論文掲載の採否は、審査員2名の査読を経て紀要編集委員会で決定する。
11. 校正は著者校正1回のみとし7日以内に行う。校正の際、内容の変更、加筆または削除は出来ない。
12. 本誌に掲載された論文の著作権は、九州看護福祉大学に帰属する。また、投稿論文の全文が「本学リポジトリ」に、著者名および抄録が「医学中央雑誌データベース」に掲載される。
13. 投稿原稿の執筆要領
 - 一 投稿内規および執筆要領に準拠しないものは受け付けない。
 - 二 投稿論文の使用言語は日本語または英語とする。原稿は、Windows版 Microsoft Wordを使用し、A4判用紙に横書きとする。日本語論文は、明朝体・文字サイズ10ポイント、文献・注釈は9ポイントで、1頁23字42行2段組で印字する。ただし、要旨は9ポイントで、1頁44字46行(段組なし)で印字する。原則として、最大文字数は、図表・注・文献などを含めて20,000字とする。英語論文も同様のフォーマットとし、同程度の文字量(7,000 words maximum)、Times 10.5 point (Referencesは9 point)、double spaceで1頁42行2段組、AbstractはTimes 9 pointとし1頁46行(段組なし)で印字する。図表は本文中に挿入し、刷り上りのイメージにて印刷する。ただし、最終原稿受領後、紀要編集委員会の判断により、投稿者の意図を損なわない範囲内で図表の位置を変更する場合がある。図表は、以下の通り換算する。
 - イ 刷り上がり1ページ: 1,600文字相当
 - ロ 刷り上がり1/2ページ: 800文字相当
 - ハ 刷り上がり1/4ページ: 400文字相当
 - ニ 刷り上がり1/6ページ: 260文字相当
 - 三 特別な理由がある場合は、縦書きも可とする。ただし、その場合は別途理由書を提出すること。
 - 四 投稿論文の形式は、表題 [Title]、著者名 [Authors]、所属 [Affiliations]、要旨 (800字以内) [Abstract (within 500 words)]、キーワード (5件以内) [Keywords (within 5 words)]、本文 [Text] とする。本文 [Text] は原則として、緒言 [Introduction]、方法 [Methods]、結果 [Results]、考察 [Discussion]、結語 [Conclusion]、謝辞 [Acknowledgment]、文献 [References] の順とする。人文・社会科学あるいは語学関係の本文も可能であれば上記の様式にあわせることが望ましいが、関連する学会誌等の投稿規程の執筆要領に準ずるものとする。総説などで本文に章立てが必要な場合、項目番号はI. → 1. → 1) → (1) とする。なお、原著論文および総説については、日本語論文には英文の、英語論文には和文の表題、著者名、所属、要旨、キーワードを論文の最終ページに添付する。
 - 五 表、図および写真等はモノクロを基本とし、必要に応じてカラーとする(100MBを上限とする)。表のタイトルは表の上欄に、図のタイトルは図の下欄に、

それぞれ図表番号とともに記す。また、表の説明等は表の下、図の説明は図のタイトルの下に記す。投稿の際、刷り上りのイメージで本文中に挿入して印字し、投稿すること。

- 六 外国人名や地名などの固有名詞、および歴史用語などには、初出時に括弧内に原語を付す。専門用語は関連する学会で定められた用語を用いる。略語を使用する場合は、初出時に括弧内に省略しない正式名を付す。
- 七 単位として、mg、g、kg、mm、cm、s、min、h、mM、ml、l、℃、%などを用いて、国際単位系(SI)の記載に従う。数字は特別な場合を除き、半角のアラビア数字を用いる。
- 八 文献は、本文中の引用順に、番号を上付き右片括弧内に記入し、文献欄に番号順に列記する。
- 九 文献記載様式

[学術論文] 著者名, 論文名, 雑誌名, 発行年; 巻(号): 頁-頁.

例1) 長谷川和夫. 老年期の心身医学…現状と展望. 心身医学. 1994; 34 (1) : 15-31.

[著書(単著)] 著者名, 書名, 発行都市名: 出版社名; 発行年. 頁-頁.

例2) 白佐俊憲. 研究の進め方・まとめ方. 東京: 川島書店; 1990. p.15-32.

[著書(編著)] 著者名, 題目名, 編集者名, 書名, 発行都市名: 出版社名; 発行年. 頁-頁.

例3) 星 亘二, 森本兼囊. 生活習慣と身体的健康度. 森本兼囊 編. ライフスタイルと健康—健康理論と実証研究. 東京: 医学書院; 1991. p.61-65.

[Webサイト] 著者名(公開年). 表題. Webサイト名. URL(閲覧年月日)

例4) 厚生労働省(2019). 令和元年(2019)人口動態統計(確定数)の概況. 厚生労働省ホームページ.

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei19/index.html> (2020年1月10日閲覧)

十 注釈は、本文中で出現順に、*番号を上付き右片括弧内に記入し、注釈欄に番号順に列記する。

14. 査読について

- 一 審査員2名は紀要編集委員会にて選定し、紀要編集委員長が依頼する。
- 二 編集期間の都合上、原則3回目までの査読とする。また、3回目の査読の結果においても大幅な修正が必要となった場合は、修正後に次号への再投稿とする。

1回目	2回目	3回目
・掲載可	・掲載可	・掲載可
・修正して掲載可	・修正して掲載可	・修正後、次号に再投稿
・修正後再査読	・修正後再査読	
・掲載不可		

附 則

この内規および要領は、令和元年12月5日から施行する。

附 則

この内規および要領は、令和2年11月18日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

編集後記

九州看護福祉大学紀要第23巻の発行にあたり、ご投稿いただきました皆様をはじめ、査読や編集にご協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

今回は、原著論文3編、総説1編、研究報告1編を掲載することができました。内容として、勝部真長道德教育論の展開および道徳的価値の体系化に焦点をあてた論文、過疎地域でのソーシャル・キャピタル醸成が介護予防に欠かせないことを示唆する論文、熊本地震被災後の生活再建に求められるソーシャル・キャピタルのあり方を検討した論文、メンタルヘルス支援の点からみた愛着スタイルに関する文献検討、コロナ禍への対応として行った代替実習の教育効果に関する研究報告となっております。

新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るう中、それまであまり脚光を浴びることのなかった mRNA の基礎研究の積み重ねを土台として、mRNA ワクチンの実用化が進んだと言われています。基礎研究の蓄積と展開は、応用研究を生み出し推進させるために不可欠であり、多様化する社会の問題解決・発展の基盤であることを改めて認識し、地道に研究を継続していく必要性を感じております。今回の紀要でも、社会の問題解決に向けた研究の成果を発表する論文に対し、投稿者、査読者および編集委員の方々には、それぞれの立場で入念な査読・修正のやりとりを重ねていただき、掲載に至っております。

今後も本学の研究・教育の向上へと貢献できるよう、本紀要の充実に努めて参る所存です。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年2月

紀要編集委員長 徳富 芳子

令和4年度紀要編集委員会

委員長	徳富 芳子 (看護学科)
委員	緒方 浩志 (看護学科)
委員	竹中 健 (社会福祉学科)
委員	角園 恵 (リハビリテーション学科)
委員	塚本 紀之 (鍼灸スポーツ学科)
委員	松尾 文 (口腔保健学科)

九州看護福祉大学紀要 第23巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol.23 No. 1

2023年3月

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾888番地

888 Tominoo, Tamana-shi,

Kumamoto 865-0062, Japan

TEL 0968(75)1800

FAX 0968(75)1811

紀要編集委員長 徳富 芳子

印刷所 シモダ印刷株式会社 熊本支店

〒862-0951

熊本市中央区上水前寺2丁目16-16

TEL 096(383)5512

FAX 096(386)5454
